

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 88

2015年4月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、庭山雅嗣先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「ライフサイエンスワールド 2015 第12回 アカデミック フォーラム」に出展します
2. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第38回研究会」のご案内
3. 「第8回研究・開発成果発表会」のご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更していただきます。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

- 
1. 「ライフサイエンスワールド 2015 第12回 アカデミック フォーラム」に出展します

バイオ・個別化医療・医薬開発の3分野の展示会とアカデミックフォーラムで構成されるライフサイエンスワールドは、大学研究者から、製薬メーカーなどの企業、個別化医療に関わる検査機関まで、あらゆるライフサイエンス関係者が来場する展示会です。  
ぜひご来場ください。

【日時】2015年5月13日（水）～5月15日（金）  
10:00～18:00（最終日は17:00まで）

【場所】東京ビッグサイト 西3・4ホール

【静岡大学の出展・発表内容】

大学院 総合科学技術研究科 農学専攻 准教授 加藤 竜也

口頭発表日時：5月14日（木）14:00～14:30 口頭発表会場：ACA-1

発表タイトル：カイコ-BmNPVバクミド発現系の応用

大学院 総合科学技術研究科 農学専攻 准教授 笹浪 知宏

口頭発表日時：5月15日（金）15:30～16:00 口頭発表会場：ACA-5

発表タイトル：顕微受精を用いた鳥類の孵化育成

大学院 総合科学技術研究科 理学専攻 講師 成川 礼

口頭発表日時：5月15日（金）14:00～14:30 口頭発表会場：ACA-2

発表タイトル：遠赤色光吸収により光変換しつつ蛍光を発するタンパク質の発

見と開発

【詳細】<http://www.lifescience-world.jp/>

【問合せ先】静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL : 053-478-1701

FAX : 053-478-1711

- 
2. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第38回研究会」のご案内

【日時】2015年5月15日（金）

しずだい産学連携メールマガジンVol188

13:25~17:00

【場所】 静岡市産学交流センター B-nest 6F プレゼンテーションルーム  
(静岡市葵区御幸町3-21)

【講演】 主題：グローバル化の中の食品・生物産業と機能性表示食品

1. 「生鮮食品の機能性表示対応のシステム作り  
温州みかん・β-クリプトキサンチンを例として」 13:30~15:00  
果樹試験研究推進協議会 コーディネーター 矢野 昌充 氏
2. 「イヌリンの機能性と当社の新制度への対応状況」 15:15~16:00  
フジ日本精糖(株) 研究開発室 原 健二郎 氏
3. 「N-アセチルグルコサミンをはじめとした当社素材の  
機能性表示対応可能性について」 16:15~17:00  
焼津水産化学工業(株) 開発センター 久保村 大樹 氏

【懇親会】

会場：ホテルシティオ静岡 17:10~18:40  
静岡市葵区伝馬町1-2 (研究会会場から徒歩約1分)

【研究会参加費】

- \*会員・後援団体会員及び学生…無料
- \*会員外…1,000円(当日、受付にてお願いします。)
- 但し、懇親会費は、別途徴収させていただきます。
- \*会員(学内・学外共) 1名2,000円
- \*会員外 1名5,000円

【主催】 静岡大学食品・生物産業創出拠点

【後援】 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

【聴講申込み及びお問合せ先】

静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷 8 3 6  
TEL : 054-238-4631  
FAX : 054-238-3018  
Email : oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

---

### 3. 「第8回研究・開発成果発表会」のご案内

県西部地域における産学官の幅広いネットワークの形成と活発な交流の促進及び技術開発のための情報の共有化を目的に、静岡県と県西部地域の大学及び産業支援機関との共催により研究・開発成果発表会を開催します。浜松工業技術支援センターと大学の研究開発成果の発表、ポスター展示・ポスターセッション及び支援機関のポスター展示をはじめ、特別講演として一般財団法人日本品質保証機構(JQA)による「ISO9001規格改定動向」を計画しております。

【日時】 2015年6月12日(金)

13:00~17:00(受付 12:30~)

【場所】 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター  
大・小研修室、視聴覚室、ロビー

【内容】

- (1) 研究・開発成果発表 14:10 ~ 16:30 (16~18テーマ)  
レーザー・光、電磁波、半熔融成形、材料加工・評価、繊維複合材料、等  
(センターの技術分野)  
各大学における最近の研究成果(各大学から1件~数件の参加)
- (2) 特別講演 13:05 ~ 14:05  
『ISO9001規格改定動向』  
一般財団法人日本品質保証機構(JQA) (講師は未定)

- (3) ポスター展示(13:00~)、ポスターセッション 16:30 ~ 17:00  
研究・開発成果ポスター及び共催・後援各機関における企業支援策の出展等

【主催】 浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会  
【共催】 静岡大学、静岡理工科大学、静岡文化芸術大学、光産業創成大学院大学  
(後援) 中小企業基盤整備機構関東本部  
【参加費】 無料  
【問合せ・申込先】  
〒431-2103 浜松市北区新都田一丁目3-3  
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター  
技術支援担当  
TEL : 053-428-4152、FAX : 053-428-4160  
E-mail : hamamatsu[at]iri.pref.shizuoka.jp

---

《 みんなのコラム -82- 》

記：工学研究科電気電子工学専攻 准教授 庭山雅嗣

私は近赤外分光法(NIRS)を応用した生体計測の研究・開発を行っています。NIRSを使うと無侵襲的に血液の量や酸素化状態を知ることができます。研究室では、コンピュータ解析等を駆使して新たな計算方法を考案し、電子回路やセンサ部に工夫を加えてより正確な計測技術を開発しています。その計測に関する新しいシーズを応用して、企業との連携による実用化も行っています。その際の特許化と技術移転は煩雑なものとなりますが、本学の産学連携・知的財産担当のサポートで進みました。最初に取り組んだのはリハビリやスポーツ用の筋肉負荷モニターです。それを発展させ、有酸素運動かどうかを判定して脂肪燃焼を測る装置も製品化しました。次に、脳の測定を対象として、精度よく、簡便に多点計測できる小型システムを実現しました。その装置は、昨年十月に薬事登録され、幅広い活用が可能となりました。また、平成25年ごろから、従来の百分の一以下の超小型センサを開発し、その技術を応用した指先装着型システムへと展開しています。胎児や臓器の健康状態を迅速に判定できるユニークな装置となり、こちらも今年1月に医療機器認証を得て、臨床での活用を期待しています。これらの取り組みを含め、企業や研究機関、医大などと連携していく中で“苦労”を感じた点は、やはり途中で研究を断念せざるを得ないケースがあることです。2~3年程度共同研究してみたものの目立った成果が出せないこともありました。おそらく今後も多くの失敗があるだろうと思いますが、深くディスカッションして早めに方針を改良したり、失敗の知見・経験も生かせるよう多少長期的な関係性を築いたりできればと思っています。今後、より便利でより正確な光生体計測装置を多くの人々の健康管理に役立てることと目指していきたいと思っていますので、皆様の一層のご支援をお願いします。

---

《 編集後記 》

この度、静岡大学で平成26年度「静岡大学産学連携奨励賞」「はましん産学連携大賞」授賞式を執り行いました。これは、平成17年からイノベーション社会連携推進機構(および旧：イノベーション共同研究センター)が、大学で得られた知の成果を積極的に社会に還元する取り組みとして開催してきた「共同研究希望テーマ説明会」等の中で、研究者のモチベーション向上と地域の皆様のご理解ご支援に対する1つのかたちとして、設立した表彰制度によるものです。「はましん産学連携大賞」は、本趣旨に賛同いただいた浜松信用金庫

が創設されたものです。

平成26年度の受賞者として、静岡大学産学連携奨励賞 最優秀賞に農学研究科の一家崇志先生、優秀賞に情報学研究科の木谷友哉先生、はましん産学連携大賞に工学研究科の松田智先生が選ばれました。

静岡大学では研究・教育の成果を社会貢献の一環として地域の発展に役立てていただくために、センター・オブ・コミュニティの拠点として、そして地域のセンター・オブ・イノベーションの拠点となるよう努力して参ります。

\* - \*

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・  
配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jp まで  
お願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

### 発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
編集：谷口悠里  
発行責任者：木村雅和  
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
TEL 053-478-1413  
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

\* - \*

Copyright (c) 2008-2015  
Organization for Innovation and Social Collaboration,  
Shizuoka University. All rights reserved